



インストールと初期設定

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [システム設定 \(1 ページ\)](#)
- [アプライアンスの設定 \(2 ページ\)](#)

概要

このガイドは、Cisco Prime Infrastructure 3.7 物理アプライアンス Gen 2、Gen 3、および Digital Network Architecture Center (DNAC) をインストールする方法についての情報を提供します。

システム設定

表 1: システム設定

仕様	Gen-2 アプライアンス	Gen-3 アプライアンス	DNAC アプライアンス
CPU	1 x 10 コア プロセッサ (20 スレッド)	20C/40T	44 C/88 T
RAM	64 GB	64 GB	256GB
HDD	4 x 900 GB (RAID 10 構成と 2.5 インチ ドライブ)	4 x 1.2 TB	3.6 TB
CMC	Cisco UCS C シリーズ Integrated Management Controller	Cisco UCS C シリーズ Integrated Management Controller	Cisco UCS C シリーズ Integrated Management Controller
NIC	統合デュアルポート ギガビットイーサネット	統合デュアルポート ギガビットイーサネット	統合デュアルポート ギガビットイーサネット

このサーバ上でのスケーリング情報については、『[Cisco Prime Infrastructure Quick Start Guide](#)』の「Scaling Prime Infrastructure」を参照してください。



(注) ハードアプライアンスにフラップ時間がある場合は、ハードウェアクロック (BIOS/CIMC) とネットワーク タイム プロトコルの時刻が同期されていることを確認します。

アプライアンスの設定

ここでは、Prime Infrastructure アプライアンスを設定する方法を説明します。

- ステップ 1** キーボードとモニタをアプライアンスの背面パネルの USB ポートに接続するか、KVM ケーブルとコネクタを使用してアプライアンス コンソールにアクセスします。
- ステップ 2** アプライアンスの電源をオンにします。
- ステップ 3** CIMC をセットアップするには、F8 を押して CIMC 設定ユーティリティを開始し、ステップ 3 ~ 11 に進みます。CIMC を設定しない場合は、ステップ 12 に進みます。

システムが応答するまでファンクションキー (F8、F6、および F2) を複数回押す必要があります。F8 キーをゆっくり押すと、EFI シェルに入ります。Alt、Del、Ctrl キーを同時に押してシステムを再起動し、再度 F8 キーを押します。

(注) Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Prime Infrastructure サーバをリモートからアクセス、設定、管理、およびモニタするために使用する管理サービスです。

- ステップ 4** 設定ユーティリティのウィンドウで、次のフィールドを指定されたとおりに変更します。
- [NICモード (NIC mode)] : [専用 (Dedicated)] を選択します。
 - [IP (基本) (IP (Basic))] : [IPv4] を選択します。
 - [DHCP] : イネーブルになっている DHCP を無効にします。
 - [CIMC IP] : CIMC の IP アドレスを入力します。
 - [プレフィックス/サブネット (Prefix/Subnet)] : CIMC のサブネットを入力します。
 - [ゲートウェイ (Gateway)] : ゲートウェイ アドレスを入力します。
 - [優先DNSサーバ (Pref DNS Server)] : 優先 DNS サーバのアドレスを入力します。
 - [NIC冗長性 (NIC Redundancy)] : Null

ステップ5 F1 キーを押して、追加設定を指定します。

```
Cisco ICM Configuration Utility Version 2.0 Cisco Systems, Inc.
*****
Common Properties
Hostname: C220-FCH1843VOL3
Dynamic DNS: [ ]
DDNS Domain:
FactoryDefaults
Factory Default: [ ]
Default User(Basic)
Default password:
Reenter password:
Port Properties
Auto Negotiation: [ ]
Speed[1000/100 Mbps]: 100
Duplex mode[half/full]: full
Port Profiles
Reset: [ ]
Name:
*****
<Up/Down>Selection <F10>Save <Space>Enable/Disable <F5>Refresh <ESC>Exit
<F2>PreviousPage
```

ステップ6 [追加設定 (Additional Settings)] ウィンドウで次のように変更します。

- CIMC のホスト名を入力します。
- ダイナミック DNS をオフにします。
- 管理者パスワードを入力します。パスワードフィールドを空白にした場合のデフォルトパスワードは **password** です。

ステップ7 F10 キーを押して、設定を保存します。

ステップ8 Esc を押して終了し、サーバを再起動します。

リモート管理の場合は、現在のステップ7に移動します。

ステップ9 設定が保存されたら、ブラウザを開いて、次の URL を入力します。

https://CIMC_ip_address。ここで、*CIMC_IP_address* は上記のステップ3で入力した IP アドレスです。

ステップ10 次のクレデンシャルを使用して CIMC Web インターフェイスにログインします。

- ユーザ名 : admin
- パスワード : ステップ6で設定したパスワード

ステップ6でデフォルトパスワードを変更していない場合は、パスワードをリセットするように求められます。

物理アプライアンスのパフォーマンスの向上

Prime Infrastructure 物理アプライアンス Gen 2、Gen 3、および DNAC アプライアンスのパフォーマンスを向上させるには、仮想ドライブの書き込みポリシーが [Write Back Good BBU] に設定されていることを確認します。仮想ドライブの書き込みポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 CIMC Web インターフェイスを起動します。

ステップ 2 [ストレージ (Storage)] タブをクリックして、SAS モジュラ コントローラ名をクリックし、[仮想ドライブ情報 (Virtual Drive Info)] タブをクリックして、[仮想ドライブ (Virtual Drive)] を選択してから、[仮想ドライブの編集 (Edit Virtual Drive)] をクリックします。

ステップ 3 表示されたダイアログボックスで [OK] をクリックします。

ステップ 4 [書き込みポリシー (Write Policy)] フィールドで、ドロップダウンから [Write Back Good BBU] を選択してから、[変更の保存 (Save Changes)] をクリックします。

Cisco Prime Infrastructure の以前のリリースからのアップグレードと移行

『[Cisco Prime Infrastructure Quick Start Guide](#)』の「Upgrading from Previous Releases of Cisco Prime Infrastructure」と「Migrating from Previous Releases of Cisco Prime Infrastructure」のセクションを参照してください。